

会報 明石のぼうさい

編集発行/明石防火協会(明石市消防局予防課内)
〒673-0044 明石市藤江924番地の8
TEL(078)918-5272 FAX(078)918-5983
ホームページアドレス: <http://www.akashi-bouka.jp/>



平成三十年度自衛消防隊訓練指導会



平成三十年十月三十一日(水)午後二時から明石市消防局訓練施設において平成三十年度自衛消防隊訓練指導会が実施されました。
本年度は少し肌寒い天候でしたが、四十六事業所、百五十二名の参加を得て実施されました。
今年の訓練指導会は、実地訓練型で業種別に四つの想定で二十一チームに別れ実施しました。
訓練は事業所の業態別に想定、より各事業所が実災害に対応でき、今回訓練に参加された方々が各事業所で自主訓練を行ったときにリーダーとなる知識と経験の習得を目指して行われました。
参加された二十一チームはどこも緊迫感に溢れた訓練を行い、実りある一日でした。



今回の訓練を企画担当しました予防課の日高と申します。
本年度の訓練指導会では避難誘導に重点を置いた訓練想定としました。避難者の中には視覚障がい者や車椅子が必要な避難の際に特に配慮が必要な方がおられます。
「逃げて」の一言で全てを察して適切に行動できる人はまずいません。今回の訓練を契機として避難誘導訓練のバリエーションを増やしていただければ幸いです。



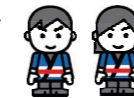
明石防火協会からのお知らせ

明石市消防出初式写真展示会 ＜作品募集要項＞

消防出初式の写真コンテストに代わり、明石市防災センターで開催する消防出初式写真展示会の作品を募集します。作品の審査は行いません。



- 応募作品**
平成31年明石市消防出初式に関する作品に限ります。
※出初式 平成31年1月13日(日) 10時00分から12時00分まで
会場:明石市中嶋1丁目5番1号 明石市役所周辺
- 応募要項**
本チラシの裏面をご覧ください。
- 作品受付**
【期間】1月25日(金)までに明石市防災センターに持参
【受付】〒673-0044 明石市藤江924番8号
明石市防災センター(午前8時55分から午後5時40分まで)
☎(078)918-5910
※休館日(月曜および第3火曜)に持参された場合、消防局4階予防課で受付します。
- 作品展示**
【展示期間】平成31年2月5日(火)から2月28日(木)まで(月曜および第3火曜は休館)
【展示場所】明石市防災センター内
- その他**
応募者先着100名様に、記念品を贈呈いたします。
※記念品は、応募点数に関係なく、おひとり様1品とさせていただきます。
- 主催**
明石防火協会・明石市消防局



写真展示会作品募集条件・応募票

- 15歳以上の方で、1人4点までとさせていただきます。
※ 記念品は、応募点数に関係なく、1人1品とします。
- 作品規格は、カラープリント2L(127mm×178mm)から四つ切(254mm×305mm)までで、裏面に応募票を貼り付けてください。(タテ、ヨコどちらでも構いません。)
- 応募作品の著作権は撮影者本人に帰属しますが、応募作品の公開、発表、使用の権利(展示会・パンフレット・ホームページ・SNS等で使用)は、主催者に帰属します。
- 画像の合成・加工したものは応募できません。(ただし、トリミング・明暗色調の補正は可能です)
- 応募者が本写真展示会へ応募したことに関して何らかの損害を被った場合であっても主催者は一切責任を負いません。
- 応募者が被写体の肖像権に対して万一問題が生じた場合であっても、主催者は一切責任を負いません。
- 応募された作品は返却しませんので、元データは本人で保管してください。

※個人情報取扱
応募時にご記入いただいた個人情報及び応募作品は、主催者が慎重に管理し、本写真展に関連する業務以外一切使用しません。

※問い合わせ先
明石市藤江924番8号
明石市防災センター
☎(078)918-5910



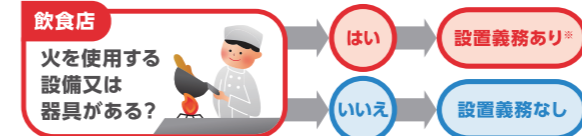
明石市消防出初式写真展示会 応募票	
氏名	
住所	
電話番号	

明石市消防出初式写真展示会 応募票	
氏名	
住所	
電話番号	

あなたのお店に 消火器は ありますか？

2019年10月1日～
糸魚川市大規模火災(2016年12月22日) 写真提供:糸魚川市消防本部

火を使用するすべての飲食店に 消火器の設置が必要となりました。



※以下の装置があれば消火器の設置は免除できます。

- 調理油温熱防止装置
- 自動消火装置(火災を感知し消火薬剤で自動消火するもの)
- その他の危険な状態の発生防止および発生時における被害を軽減する安全機能を有する装置(例:圧力感知安全装置)
- 調理油温熱防止装置
- 立ち消え防止安全装置



10年たったら、とりかえろ。
お家の火災警報器の話です。

わが家の住宅用火災警報器、いまずくチェック！

住宅用火災警報器は、10年を目安に交換をおすすめします！

まずは、作動確認し、音を聞いてみましょう！
ボタンを押す、またはひもを引いて作動確認をします。

<p>正常な場合</p> <p>正常をお知らせするメッセージまたは火災警報音が鳴ります。</p> <p>ビビ、ビビービー</p> <p>ピーピービー 火事です</p>	<p>音が鳴らない場合</p> <p>電池がきちんとセットされているか、ご確認ください。</p> <p>しーん</p> <p>それでもならない場合は、「電池切れ」か「機器本体の故障」です。取扱説明書をご覧ください。</p>
--	--

※警報器はメーカーや製品により異なります。

新しい火災警報器に交換したら！

住宅用火災警報器のお問い合わせは、明石市消防局予防課へ ☎078-918-5272

記入例
設置年月 2018年2月

本体側面などに、油性ペンで「設置年月日」を記入しましょう。

作動を確認し、音を聞いてみるのも忘れずに！

明石市消防局 明石市防災センター 明石市消防団を知る

関連リンクの中に、明石市防災センター・明石市消防団のホームページもありますので、是非ご覧ください。(スマートフォン対応)

消防局ホームページをチェック akashi-fd.jp/main/

今後も定期的に「消防」に関する情報を発信していきます！
【発信元】明石市消防局総務課企画広報係 078-918-5941

QRコード



本年度は精密計測機器の製造会社である鳥津製作所三条本社工場を訪れ、京都市内の中心部にありながらゆったりとした敷地に最新の設備を備えた工場を視察し、有意義な一日になりました。

工場・危険物部会合同視察研修
工場・危険物部会の合同視察研修が平成三十年十月二十三日(火)に行われ二星工場部会長及び礎武危険物部会長以下二十二社二十六名により実施されました。



医療福祉部会視察研修
医療福祉部会の視察研修が平成三十年九月十三日(木)に山田部会長以下二十名により実施されました。高槻市にある高槻病院の先進的な医療体制を学び、また、麒麟ビールの神戸工場ではビールの製造工程を見学し最新の衛生管理技術を学びました。

医療福祉部会視察研修



「パピオスあかし」は、平成二十八年十二月一日に「明石市中心市街地活性化基本計画」の中核施設として、公共公益・商業施設・駐車場から構成される大型複合用途施設が誕生いたしました。

パピオスあかしのネーミングの由来は、市民の憩いのオアシス・殿堂となり、明石市の新しい文化を創造する広場になるようにとの願いを込めて、次のようにキーワードの文字をつないだ造語となりました。

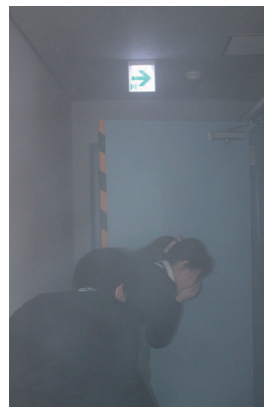
「パ」…殿堂の「パレス」+「ピ」…広場を意味するイタリア語の「ピアッツァ」+「オス」…推進するの意のオス(押す)とオアシス。



パピオスあかし

会員事業所紹介

～いざというときの行動力を高めてください～



煙避難体験
火災時の煙の恐怖をリアルに再現。煙の中の避難行動を学ぶことができます。



消火体験
模擬消火器で初期消火を学ぶことができます。



地震体験
飛び出す映像と起震装置で地震を体験。



明石市防災センターは、市民一人ひとりの防災意識を高め、総合的な自主防災力の向上を図る、市民防災の学習拠点です。災害時に不可欠な自主防災力を「見て」「聴いて」「触れる」ことで、学ぶことができます。

明石市防災センター

平成30年度 防火ポスター展



魚住保育園 年長 藤原 凛和 明石防火協会会長賞



大久保小学校 5年 柳内 魁斗 明石市消防長賞



大久保北中学校 3年 渡邊 咲月 明石市長賞



大久保北中学校 2年 漆原 海里 明石市議会議長賞



中崎小学校 4年 高橋 右京 明石市消防団長賞



大久保南小学校 3年 橋本 旬平 明石市教育長賞

防火協会恒例の主催行事として火災予防運動啓発用ポスターの募集を呼びかけたところ、市内の園児から中学生まで八百七十二点の応募がありました。審査は、十月四日(木)に行われ、朝比奈会長ほか6名の審査員により左記の方々が明石市長賞ほか各賞に選出されました。市長賞作品で秋季火災予防運動ポスターを、防火協会会長賞作品で春季火災予防運動用ポスターをそれぞれ作成しました。

平成30年 上半期(1~6月)火災・救急の統計

火災の概要

平成30年上半期の明石市における火災件数は、32件・焼損床面積は76㎡・火災損害額2,631万円・死者2名・負傷者4名です。

●前年度の比較(上半期・件数)

区分	平成30年	平成29年
建物	14	24
林野	0	0
車両	1	0
船舶	0	0
その他	17	6
合計	32	30

救急の概要

●前年度の比較(件数)

区分	平成30年	平成29年
急病	4,878	4,411
交通事故	498	556
一般負傷	1,174	1,187
加害	37	33
自損行為	56	77
労働災害	28	38
運動競技	24	31
火災	11	20
水難	6	6
自然災害	0	0
転院搬送	717	675
その他	216	175
合計	7,645	7,209



火災件数は32件で前年より2件増加しました。火災による死者は2名で1名増加し、負傷者は増減なしです。主な出火原因を見ると、1位が「放火・放火の疑い」7件、2位は「たばこ」と「こんろ」が各3件となっています。火災件数の中で「建物火災」は14件で前年より10件減少し、「車両火災」は1件で1件増加し、「その他火災」は17件で11件増加しています。また建物火災の中で損害額については、前年より78.1%減少しています。救急出動件数は7,645件で前年より436件増加しています。救急事故種別は1位急病4,818件、一般負傷1,174件、3位転院搬送717件となっています。

●出火原因(件数)

放火(含疑)	7
こんろ	3
ストーブ	1
たばこ	3
排気管	0
電灯・電話などの配線	0
配線器具	1
火遊び	1
マッチ・ライター	1
衝突の火花	1
火入れ	1
その他	5
不明・調査中	8
合計	32

●火災損害

焼損棟数	全焼	1棟
	半焼	0棟
	部分焼	0棟
焼損面積	ぼや	13棟
	76㎡	
り災世帯	全損	1世帯
	半損	0世帯
	小損	10世帯
り災人員	30人	
損害額	26,311千円	
建物	26,265千円	
車両	40千円	
船舶	0	
その他	6千円	